

令和5年度第三者評価 改善状況報告書

令和6年3月31日

施設名	港区立高齢者在宅サービスセンター白金の森（通所介護）	施設所管課	保健福祉支援部 高齢者支援課
所在地	港区白金台5-20-5	指定管理者	社会福祉法人 奉優会

改善すべき指摘内容等	対応事業者 (共同事業者の場合記入)	令和6年3月までの改善状況等 (指定管理者記入欄)	令和6年4月以降の取組予定 (指定管理者記入欄)	所管課確認欄 (施設所管課記入欄)
事業所では、多くの利用者に通所してもらうことを課題とし、日々提供するプログラムの内容を充実させて、利用者に満足してもらえるように努めている。さらには、ケアマネジャーを事業所に招いて、事業所の特徴やサービスを直接感じてもらう取り組みを実施している。今後も、ケアマネジャーへの情報提供、ブログ等での活動内容の紹介、プログラム内容の充実への取り組みを継続し、利用回数を増やしてもらったり、新規利用者を紹介してもらったりすることで多くの利用者につなげていくことが望ましい。	港区立高齢者在宅サービスセンター白金の森	SNSを始めとした広報の発信をし、定期的なイベント開催を行うことができた。	前年度からの活動をはじめ、今後もケアマネジャー、ご家族、地域へ向けた発信を継続して行ってきたい。 家族会の開催回数を前年度よりも増やし、ご家族との関係性をより深められるよう取り組む。	今後も活動内容の紹介等PRを強化してもらい、プログラムの充実等、さらなる取り組みを促していく。
通所部門では、利用者の家族向けの介護教室の開催にも取り組んでいる。しかし、コロナウィルス感染防止の影響もあり、参加者の数は少ない状況であった。今後も通所部門では、在宅介護に必要なことを、利用者家族とともに学んでいく場を提供することが必要であると認識している。利用者が家庭でも安心して過ごすことができるよう、より多くの家族に介護教室に参加してもらうことが望ましい。	港区立高齢者在宅サービスセンター白金の森	利用者の家族向けの介護教室について、新型コロナウイルス感染防止の影響等により、昨年度は1回のみ開催となってしまった。	ご利用者ご家族との関係を深めるためにも定期的な開催を行いたい。(年3回開催予定)	利用者の家族のニーズを汲み取りながら、より良い介護教室を開催できるよう、かつ積極的にご家族に働きかけ、参加を促していくよう期待する。
事業所では、契約職員の比率が高く、勤務時間数にも違いがある状況となっている。利用者サービスの質を向上させるために職員研修を充実させていく必要があるが、勤務時間の都合上、一堂に会しての研修実施が難しい状況にある。現在も、個別に必要な指導やアドバイスをする等の取り組みをしているが、今後は、限られた時間の中でも成果につながるような、研修の開催回数、時間、資料作成などにおける工夫を重ねていき、職員一人ひとりの支援力向上が望ましい。	港区立高齢者在宅サービスセンター白金の森	研修に参加できる職員については、機会があれば可能な限り参加してもらった。 また、全体会議の開催時に、法人マニュアルによる研修を10分程度行い、理解を深めるようにした。	研修参加については、職員一同の年間スケジュールを立てていく。直接の研修参加はもちろんだが、現地に参加することが難しい場合はオンライン参加や、研修資料を読み、後日に質問を受け付ける対応を実施していく。	職員が個々に応じた研修を受講できるよう、短時間での職場内研修を増やす等、自分に合った方法でスキルアップできる環境を構築していけるよう期待する。